

2006年3月20日

ペトロ・ラービグの起工式実施

住友化学は、サウジアラビアン・オイル・カンパニー（サウジ・アラムコ社）と折半出資の合弁会社ラービグ・リファイニング・アンド・ペトロケミカル・カンパニー（ペトロ・ラービグ社）を設立し、サウジアラビアのラービグにおいて石油精製と石油化学との統合コンプレックス事業計画（ラービグ計画）を推進しておりますが、このほど、エンジニアリング・調達・建設（EPC）に関する主要な契約の締結を終えましたので、3月19日に現地において起工式を実施いたしました。総事業費は98億米ドルとなります。

本計画に関しては、3月2日に、国際協力銀行（JBIC）とサウジアラビアのパブリック・インベストメント・ファンド（PIF）という日本とサウジアラビアの政府系金融機関を中心とする銀行団との間で融資契約の締結を終え、また、投資リスクに対するリスクヘッジの一環として、独立行政法人日本貿易保険（NEXI）から保険引受けの決定を得ています。今後は、計画どおり2008年第3四半期の完成をめざして、建設工事を本格化させてまいります。

ラービグ計画は、サウジアラビア紅海沿岸のラービグにサウジ・アラムコ社が所有する既存製油所にエタンクラッカー、ハイオレフィン流動接触分解装置（HOFCC）や石油化学製品生産設備などを新設し、世界最大級の石油精製と石油化学の統合コンプレックスを建設するもので、競争力のある原料をサウジ・アラムコ社から安定的に供給を受けるとともに、スケールメリットを最大限に発揮し、これまでに比べ飛躍的に収益力の高い石油精製・石油化学事業を展開しようとする計画です。同時に本計画が、川下産業の発展などを伴って、サウジアラビアの雇用の拡大、産業の多様化に貢献し、同国経済の持続的な発展に資するとともに、日本とサウジアラビア両国の関係のさらなる緊密化の一助となることを期待しています。

以上